

# かはば

## 議会だより

185  
2013.7.16



### 6月議会で決めたこと 職員給与・議員報酬の減額……………2

一般質問 町政を問う  
人口減少見越し町づくりを 一般質問7議員……6

議会からのお知らせ  
議会改革特別委員会経過報告……………14

あの質問はどうなった  
防災倉庫・備蓄の備品は……………15

なでてもいいかな  
(煙山保育園)

# 町長 副町長 議員 3% 教育長 2% 職員 1% の給与・報酬減額

## 被災市町村の復興、日本の再生 に向けて一丸となって協力

6月定例会は、6月11日～14日の会期で開催され、人事案件や補正予算、条例等を審議しました。主な内容は次の通りです。

### 条例

#### 職員の給与の臨時特例

防災、減災事業と地域経済の活性化を図るため、日本の再生に向けて国と地方が一丸となって努力する必要があります。平成25年度に限って地方公務員の給与削減を国から要請されています。

本町においてもこの趣旨に鑑み、平成25年7月から平成26年3月までの間、職員の給与を削減するため条例が制定されました。

本町のラスパイルズ指数は100・6で、減額率は次の通りです。

町長・副町長 月額3%減額  
教育長 月額2%減額  
職員 月額1%減額  
減額される給与は総額およそ516万円となります。

### 議員報酬の減額

国が地方交付税の削減を含め地方公務員の給与削減を要請することは、地方自治の根幹にも関わる問題ではあるが、被災市町村の復興と日本の再生に向けて、議員も一丸となって協力するため、平成25年7月から平成26年3月までの間、議員報酬の月額3%を減額することにしました。

### 補正予算

補正予算は、一般会計、水道事業会計および下水道事業会計で計上され、一般会計は約1588万円を追加し、総額約87億8057万円となりました。

### 財産取得

#### 消防ポンプ自動車を更新

購入から24年を経過した第3分団第9部の消防ポンプ自動車を更新します。

1837万円

### 人事案件

#### 人権擁護委員の推薦に同意



矢幅 智 さん(新)  
(矢巾1区、徳田小前校長)



昨年更新された消防ポンプ自動車(第2分団第5部)

### 主な歳入

- ▼地域経営推進費補助金 658万円
- ▼自治総合センター一般助成金 100万円

### 主な歳出

- ▼シイタケほだ木の焼却処理 455万円
- ▼間野々浄化センター改修等 1328万円



改修が予定されている間野々浄化センター

## みなさんからの請願

▼少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、意見書採択の要請についての請願

▼岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願

岩手県教職員組合  
盛岡紫波支部  
支部長 三又 恭次さん

岩手県保険医協会  
会長 箱石 勝見さん

### 全員賛成

### 採択 審査意見

子どもたち一人ひとりにきめ細かに対応するため、教職員の目の届く30人以下学級を導入し、個々に応じた教育を望む。義務教育費国庫負担割合を3分の1から2分の1に戻すことで国が財源保障し、積極的に責任を果たさなければならぬ。

### 全員賛成

### 採択 審査意見

現物給付により一定の負担金で受診できることは受診しやすい環境となる。多受診による医療費の増加につながる懸念もあることから、導入した場合、国では国民健康保険の国庫負担金にペナルティーをかけているが、病気の重症化を防ぐ側面もあると考えられる。子育て支援の観点からも町民の福祉向上のため導入すべきと考える。

# 常任委員会構成

臨時議会で決めたこと

平成25年第2回臨時会は4月26日に開催され、3月定例会から継続審査となっていた請願の審査報告などがありました。

第3回臨時会は5月10日に開催され、任期満了に伴い新たな常任委員会構成が決まりました。

## 総務常任委員会

町の行財政に関し、他の委員会に属さない事務の調査および議案、請願、陳情等の審査を行います。

## 産業建設常任委員会

農林・商工・道路河川等に関する事務の調査および議案、請願、陳情等の審査を行います。

## 教育民生常任委員会

教育・福祉分野に関する事務の調査および議案、請願、陳情等の審査を行います。

●テーマ  
第6次矢巾町総合計画後期基本計画の検証と今後の見通し

委員長 米倉清志  
副委員長 山崎正道  
委員 齊藤正範、小川文子、藤原義一、昆秀一、村松輝夫、藤原梅昭、川村よし子、米倉清志、高橋七郎、長谷川和男

●テーマ  
産業振興と豊かな自然を生かした安全で安心なまちづくり

委員長 芦生健勝  
副委員長 谷上哲  
委員 秋篠忠夫、川村よし子、長谷川和男、藤原義一、高橋七郎、米倉清志、川村よし子、藤原梅昭、村松輝夫、昆秀一、芦生健勝、秋篠忠夫、廣田光男、谷上哲、小川文子、川村農夫、山崎道夫、村松信一、藤原由巳、齊藤正範

●テーマ  
豊かな心を育む教育文化の充実と潤いある福祉のまちづくり

委員長 村松輝夫  
副委員長 藤原由巳  
委員 高橋七郎、藤原梅昭、川村農夫、村松信一、藤原由巳、村松輝夫、藤原由巳、村松輝夫、藤原由巳、村松輝夫

# 各議案の採決状況

### 平成25年第2回臨時会（4月）

議案番号	提出議案	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	採決結果	
議案33号	平成24年度矢巾町一般会計補正予算（第9号）の専決処分に関する承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案34号	平成24年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分に関する承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案35号	矢巾町税条例の一部改正の専決処分に関する承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案36号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

### 平成25年第3回臨時会（5月）

議案37号	旧矢巾中学校校舎等解体工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案38号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

### 平成25年第2回定例会

諮問1号	人権擁護委員の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案39号	財産の取得に関する議決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案40号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案41号	平成25年度矢巾町水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案42号	平成25年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案43号	矢巾町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案4号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案5号	少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関わる意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案6号	岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=原案に賛成 ●=原案に反対 棄=棄権 欠=欠席

注：藤原議長は採決に加わらない。

## みなさんからの請願

▽消費税増税に反対する請願

代表者 高橋 克公さん

賛成3・反対14

不採択

審査意見

国民の経済状況が改善されていない中で増税に関し、国民生活と経済活動などにマイナス影響を与えかねないとの議論もあるが、現在、国では景気浮揚対策を進めており、税と社会保障の一体改革としての消費税率の引き上げについては福祉政策に重きをなすものである。行政の財政運営も勘案すると、現時点では今後の動向をさらに見極める必要がある。

▽所得税法第56条の見直しを求める請願

盛岡民主商工会婦人部 部長 村上 フヂヨさん

賛成2・反対15

不採択

審査意見

青色申告を選択することにより、現状の条文のままでも控除を受けることが可能である。白色申告においても、近年は申告関係書類の整備が求められてきており、今後は帳簿類整備の義務化など、ますます青色申告と差異が少なくなってきたことから、青色申告に移行しやすい環境整備も進んでおり、見直しは必要ないものと考えます。



やがみ さとし  
谷上 哲 議員

# 指定管理者制度の問題点は 一部の施設で利用者横ばい



大いに利用が求められる南昌グリーンハイツ(北川保育園)

**質問** 現在の全ての指定管理施設の成果と問題点は、

**町長** 現在11指定管理者により18施設が管理されており、成果は総じて一定以上のものを上げている。問題点は施設の老朽化、一

## 学校給食の経費は

**質問** 給食施設の維持費と、食材費以外は町負担

**町長** 現在公募が2施設、非公募が16施設となっているが、今後については、指定管理者選定委員会において検討していく。

**質問** 共同調理場・基幹設備の耐用年数と買い替え予定は、

**教育委員長** 建物は38年、給排水衛生設備類は15年となっているが、維持管理により耐用年数よりは延伸する見込みである。

**質問** 公募・非公募は、今後も現行通りとするのか。

**町長** 現在の指定期間は、3年間が14施設、5年間が4施設となっており、今後の指定期間は、指定管理者選定委員会において検討する。

**質問** 地産地消の現状と今後の推進は、

**教育委員長** 24年度町内農産物使用割合は、重量ベースで56・6%と前年度比5・5%増で今後もさらなる向上に努める。

**質問** 契約期間は、今後も現行年数とするのか。

**町長** 現在の指定期間は、3年間が14施設、5年間が4施設となっており、今後の指定期間は、指定管理者選定委員会において検討する。

**人当たりの経費および個人負担金は、**

**教育委員長** 施設運営に係る総経費は、23年度決算で約8755万円。児童生徒1人当たりの経費額は、3万4066円で、食材費としての給食費は小学校は4万5500円、中学校は5万2000円で前年度と同額である。

# ズバリ 町政を問う



## 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。6月定例会では7人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

### ● 谷上 哲 議員……P7

- ①本町の学校給食について
- ②指定管理者制度導入の現状と効果について

### ● 昆 秀 一 議員……P9

- ①介護人材の確保と育成について
- ②NPO法人に対しての更なる支援について
- ③矢巾町と矢巾町商工会の関わりについて

### ● 川村 よし子 議員……P11

- ①介護保険制度について
- ②農業政策問題について
- ③地域経済と職員賃金との関連について

### ● 小川 文子 議員……P13

- ①放射能に汚染された椎茸ほだ木の管理と焼却について
- ②町の差し押さえを含む税務行政について

### ● 村松 信一 議員……P8

- ①学校および社会教育の取り組み状況について

### ● 山崎 道夫 議員……P10

- ①防災対策強化に対する取り組みについて
- ②公共施設の長寿命化と施設保有の適正化について

### ● 齊藤 正範 議員……P12

- ①人口減少を見越したまちづくりについて
- ②小中学校の児童・生徒数について
- ③地域の防災意識向上について

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しております。



こん しゅういち 議員 昆 秀一

# 商工会の加入率は

## 24年度は50.8%の加入



徳丹城春まつりで活躍する商工会のみなさん

**質問** 矢巾町と矢巾町商工会の関わりについて聞つ。  
商工業振興対策費1600万円の検証は。  
**町長** 補助事業実績書並びに商工会事業を協力しながら行うことにより検証している。

# 介護人材確保

## 介護人材確保事業に取り組む

**質問** 高齢化が進む中、介護の状況は厳しいものがあり、介護人材の確保と育成は大変重要なことから問題点と具体策を聞つ。  
**町長** 本町では8NPO法人が特色のある活動をしており、町民福祉の向上を担っていると思つている。支援にあたっては課題なども異なることから必要に応じて対応していく。

# NPO法人へ積極的支援を 設立、運営を 支援していく

**質問** NPO法人を積極的に支援し活発化させることで、住民の福祉に役立たせてほしい。  
**町長** 本町では8NPO法人が特色のある活動をしており、町民福祉の向上を担っていると思つている。支援にあたっては課題なども異なることから必要に応じて対応していく。

**町長** 介護施設で有資格者を確保することが難しく、人材不足が問題となっている。県の「介護人材確保事業」に取り組む、介護施設内の労働環境の改善にも、県・事業者と連携し、情報共有し取り組む。

# 商工会の加入率が低いのではないが。

**町長** 24年度加入率は50.8%となつており、流通センター事業所を対象に会員の加入に努めている。

# 商工会に属さない業者への支援や補助はどうか。

**町長** 中小企業振興資金利子補給、小規模企業信用保証料補給、プレミアム商品券の取り扱い等の支援を行っている。



むらまつ のぶかつ 議員 村松 信一

# どう取り組む学力・体力向上

## 少人数指導や授業改善で

**質問** 教育委員長と教育長が代わられたが、今後における教育行政についてお聞きする。  
本町の小中学校児童生徒の学力と体力向上について、具体的取り組みは。  
**教育委員長** 町内小中学校の学力の状況は、ほとんどの教科において県平均を上回っており、特に算数・数学・英語の指導に力を入れている。また各学校で少人数指導や、複数の教員がチームを組んで全体指導と個別指導を行う学習形態を導入し対応している。さらに、児童生徒の状況に応じた指導により、家庭学習と読書習慣等の形成に努めている。  
体力向上については、中学



徳田小学校大運動会

校は県平均を上回り非常に良好であるが、小学校は目標値を下回っており「体力向上プログラム」を作成し、体育の授業改善等に努めている。  
**質問** 防災教育と道徳教育の推進について聞つ。

**教育委員長** 防災教育については毎年各学校において、避難訓練を2回から3回実施しているが、県教育委員会作成のプログラムを活用し復興教育にも取り組んでいる。また、道徳教育についてはあいさつ運動を推進し、地域

や家庭との連携を図りながら、児童生徒の心身の発達段階に応じて、いのちの大切さを教え、豊かな情操と社会性がさらに育成されるよう取り組みを進めていく。  
**質問** 町内に発掘されない遺跡はどの程度あり、その中で重要と認識されている遺跡はあるのか。  
またその調査予定は。

**教育委員長** 現在、162カ所が周知の遺跡として登録されているが、その内29遺跡の発掘調査を実施しており、未調査の遺跡は133カ所となっている。  
未調査遺跡の中で、文献資料などにより重要と認められた赤林一里塚ほか、5遺跡について町の史跡として指定している。  
今後の調査予定の計画はないが、開発行為が発生した場合などには、発掘調査を実施し内容を明らかにするとともに、遺跡の保存と開発行為との円滑な調整を図っていく。



かわむら よしこ 議員

# 要支援者の声をどう聞く サービスで生活の質が向上



今後増加が見込まれる要支援者

**質問** 介護保険の要支援者を保険給付の対象外にすることが検討されているが、要支援者の認定を受けて介護予防サービスを利用している方の声をどのように聞くのか。

**町長** 利用している方の声を

**質問** 本町の防災対策で、力を入れてきた公共事業や本町の独自の取り組みは。

**町長** 各小中学校の耐震化や、河川改修、防災行政無線のデジタル化と車載・携帯無線機の増備などに取り組んできた。

# 防災備蓄の増配備は 食料品の配備充実を図る



やまざき みちお 議員



住民の命を守るデジタル防災行政無線

一般質問 町政を問う

**質問** 防災備蓄品等の増配備と今後の計画について。

**町長** 生活支援物資・備蓄用食料品の配備充実を図る。

**質問** 大震災の教訓を踏まえ、た危機管理指針や、業務継続計画策定に対する考え方は。

**町長** 危機管理指針は策定済みであり、災害時における業務継続計画の策定を検討する。

## 公共施設の維持 補修と保有は

### 5年ごとの 基本計画で策定

**質問** 公共施設の長寿命化と保有の適正化を今後どのように進めていく考えなのか。

**町長** 建物系・インフラ系の施設のうち、維持補修施設と新規整備施設について、現時点で考えられる主なものは。

**町長** 建物系は町公民館・総合体育館・町営住宅・小中学校などが大規模維持補修、インフラ系は水道・下水道、農業集落排水の施設、町道、橋梁など。新規施設は矢幅駅周辺土地区画整備事業、継続として煙山保育園改修事業を計画している。

**質問** 今後、改築や大規模改修などによる長寿命化が必要と考えるが、本町の方針と対応を問う。

**町長** 施設ごとに将来を見据えた中で、維持補修等の対応をしていく。

**質問** 施設保有の適正化の検討はどのような場で行われているか。また、施設保有検討会議を設置し、検討内容を町民に明らかにすべきでは。

**町長** 5年ごとの基本計画策定時に計画する。今後施設等更新時には、有識者を含めた会議の開催も検討し、その内容は公表する。

聞くのは重要と考えていて、住宅改修や福祉用具により生活の質が向上したとの意見が多く寄せられている。

**質問** 軽度者を保険給付から除外し、給付を削減することに対しての町の考えは。

**町長** 国からの正式な通知はないが、一層要支援者の増加が予想されることから、町としては介護サービスの重要性は高いものと考えている。

## 地域経済と職員 賃金との関連は

### 少なからず影響するものと思われる

**質問** 自治体職員の給与引き下げは地域経済にどう影響するか。

**町長** 給与の削減をすれば可処分所得が減少することになるので、少なからず影響する

と思われる。

**質問** ラスパイレス指数(国家公務員給与を100とした場合の比率)が近隣市町村と比較して低いが、どう考えるか。

**町長** 総合的な事業費と給与費を考慮し、基本的に人事院の勧告に従いながら給与改定を行ってきた。今後も適正な給与体系の維持に努める。

**質問** 自治体職員の給与が引き下げられた場合、地方交付税等はどうなるか。

**町長** 補正係数・算定基礎数値が未確定であることから、平成25年度地方交付税の見込み額は示せない。

**質問** 自治体職員の給与引き下げにどう対処するか。

**町長** 国からの要請の趣旨に鑑み、国家公務員との給与水準の差を削減することで現在検討中である。

一般質問 町政を問う



おがわ ふみこ 議員  
小川 文子

# 放射能汚染のほだ木管理は シートで覆い吸着剤散布する

**質問** 放射性物質に汚染されたシタケほだ木を一時保管しているが、住民の不安を解消するため、今後どういった取り組みをするのか。

**町長** 間野々公民館で2回目の説明会を開催し、放射線に関する勉強会も併せて行い、おおむねご理解をいただいたと考えている。

**質問** ほだ木管理の改善についてお聞きする。

**町長** 再度シート類で覆うとともに素掘り側溝を設け、セシウムを吸着するゼオライトを散布する。

**質問** 試験焼却時の放射性物質



間野々地区カントリーエレベーター敷地内のほだ木保管場所

質の空中拡散と焼却灰への残留量について問う。

**町長** 焼却場の排ガスは、ろ過式集じん装置のバグフィルターではほぼ100%捕集されると捉えており、焼却灰への残留量は国の基準を大きく下回っている。

## 生活保護世帯の 差し押さえは

### 個別の事情にも対応

**質問** 児童手当の差し押さえは禁止されているのにどう

**質問** 生活保護世帯への滞納分の税金の徴収を停止する考えはないか。

**町長** 受給前の滞納租税は免責にはならない。

なお、納付が困難と判断する場合は個別の事情にも対応し、差し押さえの執行停止を行う場合もある。

**町長** 国税徴収法基本通達では「児童手当の支給を受ける権利」とされているが、児童手当執行行政庁に対して支払い請求権を直接債権として差し押さえることが禁止されているものと捉えている。

**質問** 差し押さえに当たり生活費を残すべきでは。

**町長** 国税徴収法では、滞納税金に債権差し押さえ額が満たない場合には全額を差し押さえなければならないこととされている。

捉えているのか。

# 人口減少見越し町づくりを 交流人口の増加に努める



さいとう まさのり 議員  
齊藤 正範



人口増加が期待される開発中の中村地区

**質問** 本町の平成27年人口指標3万人に対し現状をどう捉え、達成のための施策は。

**町長** 本町では岩手医大の移転に合わせ、中村・藤沢地区の市街化区域編入と矢幅駅周辺開発等市街地整備を進めて

おり人口増加につなげたい。

**質問** 人口減少対策としての移住や交流事業の考えは。

**町長** 定住人口の増加と併せ、交流人口の増加も大事であり、より多くの若者が集う教育施設や商業施設の誘致に努める。

**質問** 宿泊施設が必要と思うがどうか。

**町長** 医大附属病院等が開設されれば1日の交流人口が約1万人と予想され、こうした方々の利便性からも宿泊施設の進出を望んでいる。

## 児童生徒数は

### 学区編成が必要

**質問** 中学校の学区変更がなぜ必要だったか、問題となった点、問題解決の経緯は。また矢巾・矢巾北両校の生徒数の推移予測は。

**教育委員長** 平成32年までの予測としては80〜130人ほどの差が生じると見込まれ、両校のバランスに配慮し学区編成が必要と判断。学区編成に当たっては、当初矢巾3区・新田2区行政区だったが新田2区行政区のみ同意を得て決定した。学区編成後は40〜70人くらいまでに縮まると予測。

**質問** 小学校も煙山・矢巾東の大規模校と徳田・不動の小規模校の児童数にかなりの格差が生じているが、どのような考えか。

**教育委員長** 医大附属病院の移転開業に伴う宅地開発並びに矢幅駅周辺開発等の大きな事業が完了した後、町内全域を対象とした学区の編成が必要となる。

**質問** 徳田小の移転計画は。

**教育委員長** 徳田小学校校舎を恒久的に残すことを文化庁が認める事は難しいと思われるが、今後検討していく。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う

# あの質問はどうなった

過去に質問したことが現在どうなっているのか調査しました

## 麻疹流行対策について

(平成19年6月定例会)

**問** 麻疹の予防接種をしていない幼児・生徒・学生に接種の啓発を。

**答** 乳幼児の定期予防接種に努めており、麻疹・風疹混合ワクチンを実施している。

**問** 乳幼児の予防接種を徹底

現在は

## 風疹ワクチンへの助成実施

- 緊急対策として風疹予防接種費の一部を助成。
- 期間 平成25年5月13日～平成26年3月31日
  - 助成額
    - ・風疹単抗原ワクチン 30000円
    - ・麻疹風疹混合ワクチン 50000円
- 対象者は次のすべてに該当する男女
- ①矢巾町に住居登録していて、昭和39年4月20日～平成2年4月1日生まれの方
  - ②今まで風疹にかかったことがない方
  - ③今まで風疹の予防接種を受けたことがない方
- 注：現在妊娠している方、妊娠している可能性がある方を除く。

## 防災倉庫・備蓄の備品は

(平成23年12月定例会)

**問** 災害備蓄・防災倉庫の設置、学校施設に自家発電装置を備えてはどうか。

**答** 備蓄能力は防災倉庫にまだ余力がある。自家発電装置は今後検討したい。

**問** 災害備蓄・防災倉庫の設置、学校施設に自家発電装置を備えてはどうか。

現在は

## 防災倉庫、各学校への自家発電の設置完了



役場駐車場東側の防災倉庫

- 役場駐車場東側に防災倉庫設置完了。
- 飲料水用の給水袋や毛布等の備蓄済み。
- 各学校に自家発電装置の設置完了。
- 矢巾中学校にプールの水を飲料水にできる装置を設置。

# 議会改革特別委員会

# よりの信頼される議会へ

開かれた議会を  
目指して

去る4月23日、紫波町情報交流館において、矢巾町議会、紫波町議会共催の議会改革に関する講演会を開催しました。

講師は、元北海道栗山町議会事務局長で、現在東京財団研究員の中尾修氏にお願いし、演題は「今、議会に求められているもの・議会基本条例から考える」といった内容の講義でした。

中尾氏は議会が果たす役割の重要性等について話され、併せて栗山町議会が議会改革にいち早く取り組んだ際、事務局長として関わった時の話も交え、議会改革の重要性について熱っぽく語っていただき、大変意義深い講演となりました。



紫波町議会と共催した議会改革に関する講演会

## 今後の取り組み

今後、議会改革特別委員会として、次の内容について具体的に取り組んでいきたいと考えています。

- ▼通年議会
- ▼議会単独のホームページの開設
- ▼議会報告会の開催
- ▼議員間討議
- ▼議会基本条例の制定
- ▼監査制度の見直し
- ▼政務活動費
- ▼会派制の導入

○議会単独のホームページ開設や議員間討議など、時間を要しなくても改革できるものは早急の実施する。

今まさに改革の緒についたばかりですが、他の多くの地方議会の改革に遅れることなく鋭意取り組んでいきたいと思えます。

また議会と町民の皆さんとの意見交換の場の設定や調査活動を行ってまいりますので、ご支援・協力をお願いします。

当面、次の実現に向け精力的に取り組んでいきたいと思っております。

○先進議会の視察研修を重ね、12月を目前に議会会派制の

議会改革特別委員会

委員長 廣田 光男





不来方高校弓道部の女子団体優勝メンバー（前列右から2人目が筆者）



## 平成25年度岩手県高等学校総合体育大会 弓道競技女子団体優勝

かとう れいな  
**加藤 鈴菜**さん（東徳田2区）

### 不来方高校弓道部 女子団体初優勝！

今年5月24日から26日までの3日間にわたって岩手県営武道館で岩手県高校総体弓道競技が行われました。この大会で、女子団体が初優勝、3年生の先輩2人が個人1、2位を勝ち取るという快挙を成し遂げることができました。

今大会では、予選で8射6中以上すれば個人として準決勝へ進める資格を得られたのですが、私は6中することができずとても悔しい思いをしました。団体予選でもいつもの調子が出ず、初日は落ち込みましたが、先輩方の素晴らしい中と励ましにより予選を1位通過することができました。

最終日には団体上位4チームによる決勝リーグ戦が行われました。リーグ戦が始まる前は今までで一番緊張し、不安で一杯でしたが、友人の温かい言葉に励まされて少しづつ

気持ちがお楽になっていきました。そのおかげで本番の試合ではいい緊張感で引くことができました。3試合で私は2回皆中することができ、少しは先輩方の力になれたのかなと思います。

優勝が決まった瞬間、まずは責任を果たせたとほっとし、その後だんだんに嬉しさがこみ上げてきました。これまで宮城県に遠征に行き、関東の強豪校と練習試合をしたことなど大変なこともありましたが、頑張ってきた甲斐があったと感じることができました。

今後、東北大会、インターハイと大会が続きますが、今まで以上に自分の射形を磨いていくことが大切だと思っています。見ている人が感動する射を目指して自分に厳しく練習に励んでいきたいと思えます。

### あ と が き

この議会だよりは、どれだけの町民に目を通していただけるのだろうか。

議会が何をしているのか理解している人は多くはないだろう。そういう方たちに、どうしたらこの議会だよりを読んでもいただけるのか。たくさんの方に手に取ってもらえるように各所に設置することも必要だろう。

議会を傍聴したことのない方は、ぜひ直接議場に足を運んでいただき、どんなことが行われているのか、その目でご覧いただきたい。そして、ご意見・ご感想をお寄せいただきたいと思います。

編集委員

昆 秀一

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

委員 藤原 梅昭



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

《ご意見はこちらまで》

E-mail: gikai@town.yahaba.iwate.jp

いわてやはば議会だより185号

平成25年7月16日発行